

	塩ビマンホール		楕円マンホール
	0号マンホール		φ600mm スパンパイプマンホール
	1A号マンホール		特1号角形マンホール
	1B号マンホール		特1A号マンホール
	1C号マンホール		特1B号マンホール
	2A号マンホール		特1C号マンホール
	2B号マンホール		特2A号マンホール
	2C号マンホール		特2B号マンホール
	3A号マンホール		特2C号マンホール
	3B号マンホール		特3A号マンホール
	3C号マンホール		特3B号マンホール
	4A号マンホール		特3C号マンホール
	4B号マンホール		特4A号マンホール
	4C号マンホール		特4B号マンホール
	5A号マンホール		特4C号マンホール
	5B号マンホール		特5A号マンホール
	5C号マンホール		特5B号マンホール

	特5C号マンホール
	特殊マンホール
	副管付マンホール

ます記号

汚水ます

宅1号	宅2号	宅3号	車1号	車2号	車3号

雨水ます

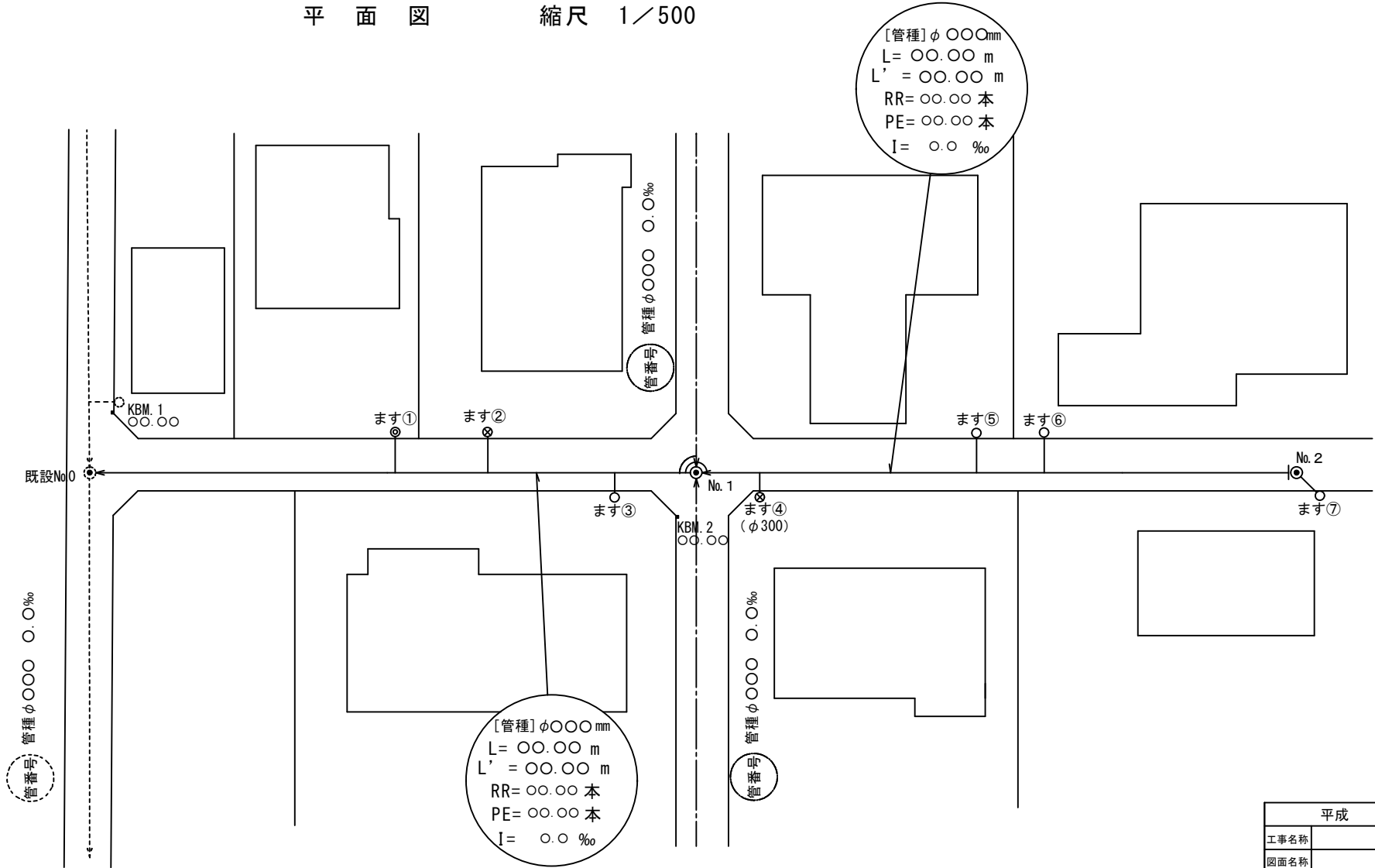
宅1号	宅2号	宅3号	車1号	車2号	車3号

雨水ます(B型)

路線種別記号

	実施路線(実線)
	計画路線(一点鎖線)
	既設路線(点線)
	縁切(起点)

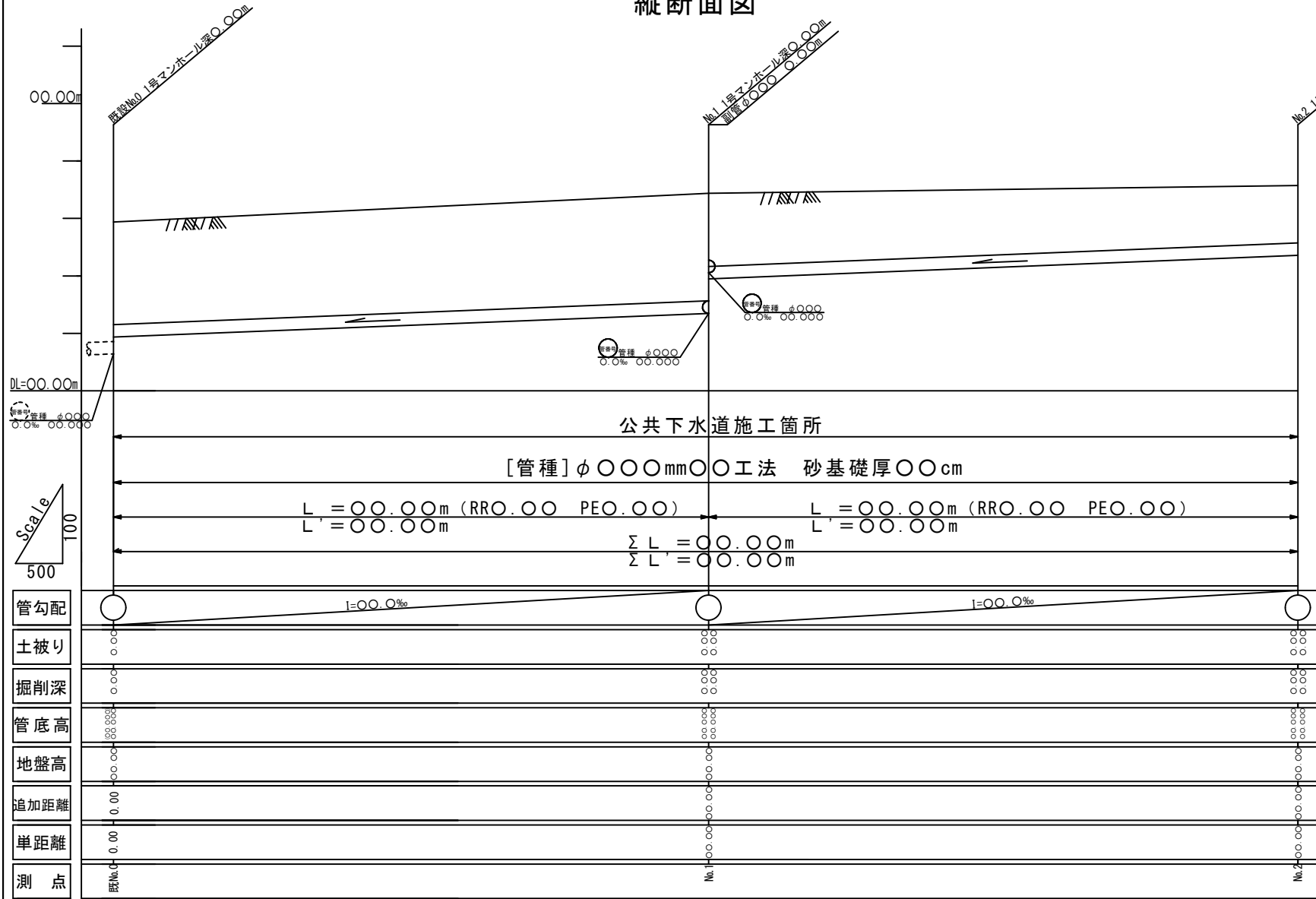
平面図 縮尺 1/500



備考

- ・縮尺は1/500を基本とする。
- ・図面上にBM又は仮BMを明示のこと。
- ・ますφ300を使用する場合は、ます番号の下段に（φ300）と記載すること。

縦断面図



平成		年度	
工事名称			
図面名称			
縮尺	図示	図面番号	/

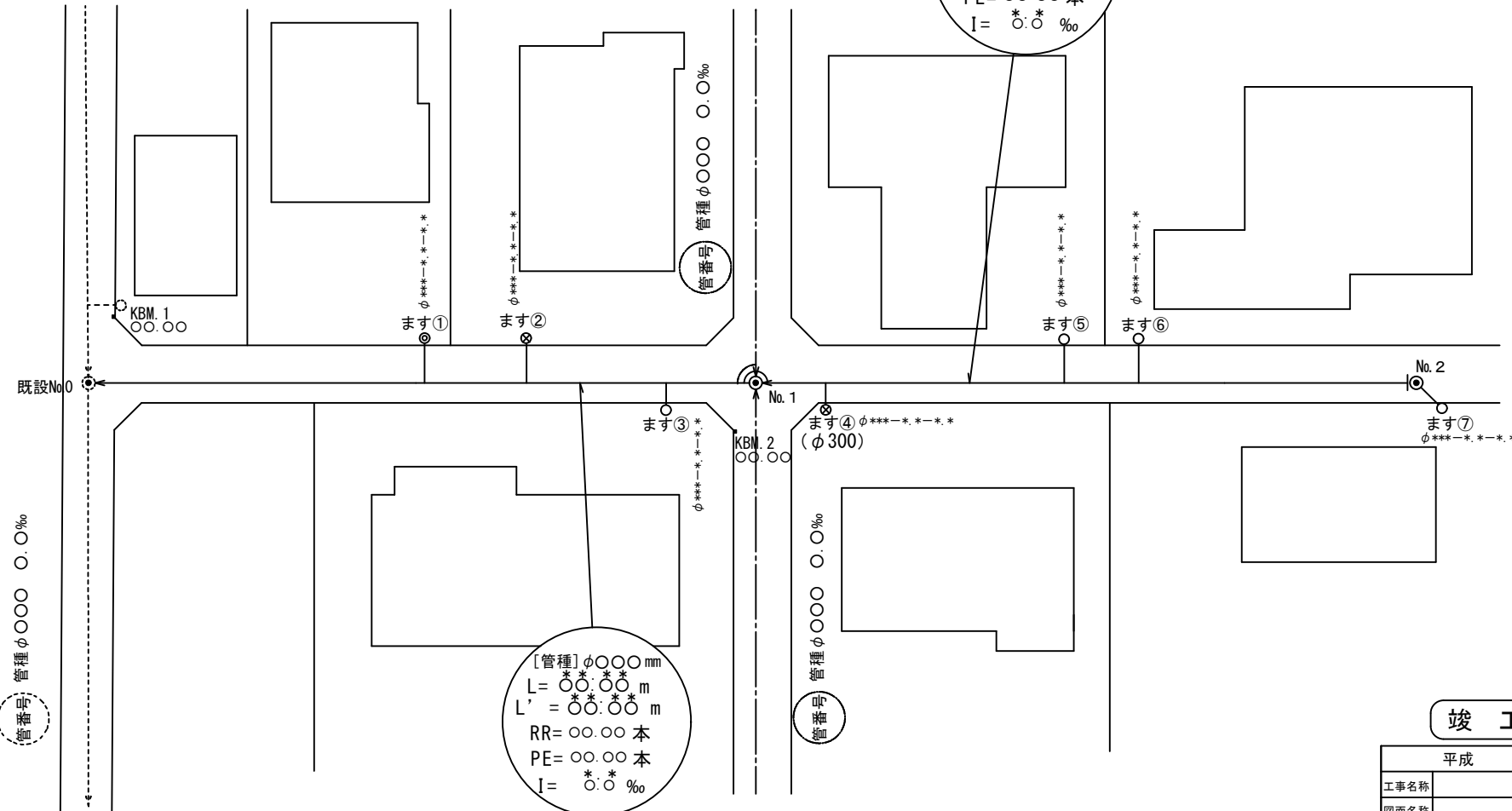
備考

- 掘削深 = 地盤高 - 管底高 + 管厚 + 基礎厚
- 土被り = 地盤高 - 管底高 - 管径 - 管厚
- L = 管きよ延長 L' = 路線延長

平面図 縮尺 1/500



[管種] φ○○○mm
 L = ○○.○○ m
 L' = ○○.○○ m
 RR = ○○.○○ 本
 PE = ○○.○○ 本
 I = ○.○ %



[管種] φ○○○mm
 L = ○○.○○ m
 L' = ○○.○○ m
 RR = ○○.○○ 本
 PE = ○○.○○ 本
 I = ○.○ %

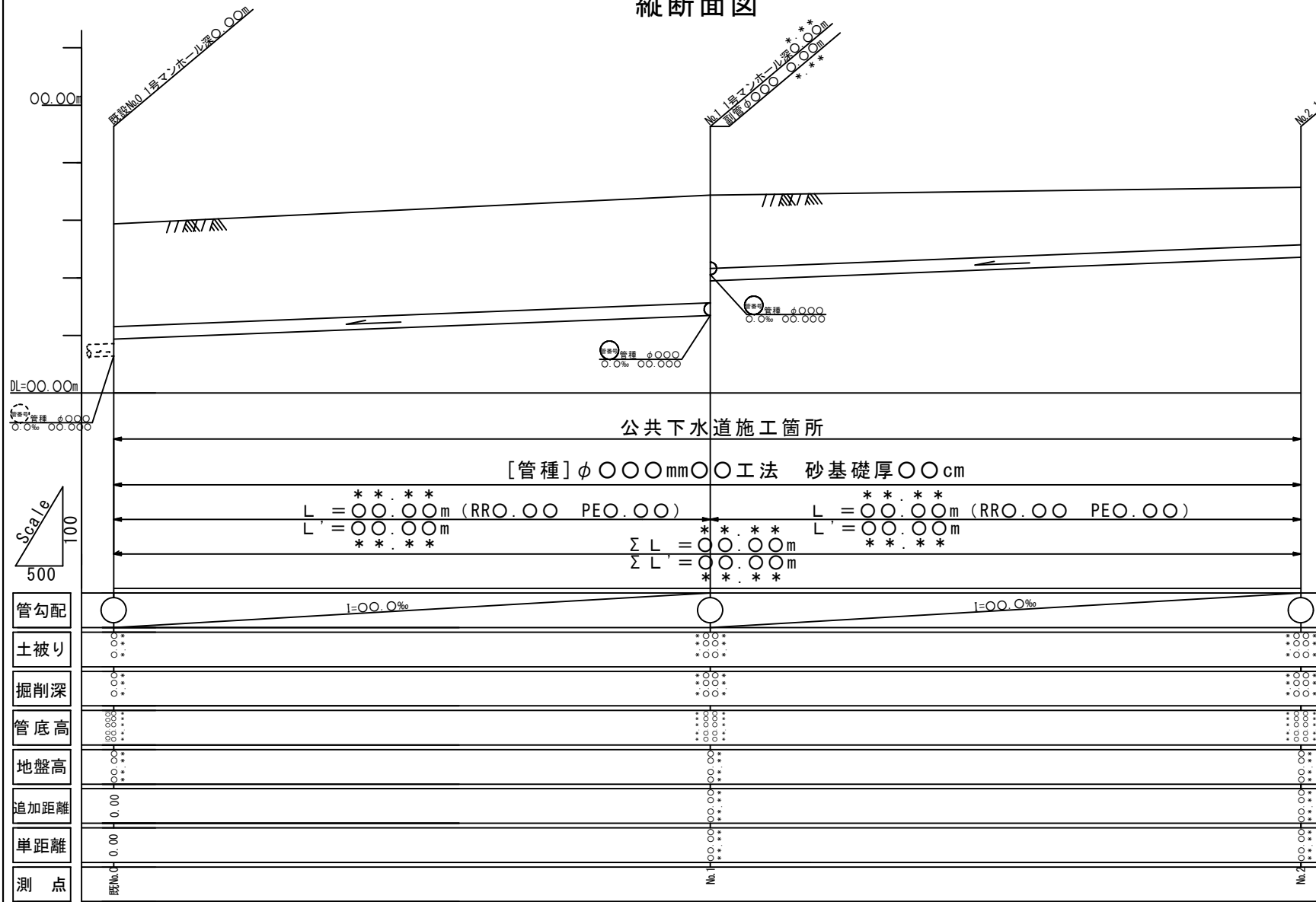
竣工図

平成		年度	
工事名称			
図面名称			
縮尺	図示	図面番号	/

備考

- ・出来形実測値 (**.**) 及び施工箇所を朱書きで記入する。
- ・マンホールオフセット図を15-6のとおり作成する。
- ・取付ますについて、取付管径－取付管延長－上流マンホールから支管までの延長の順番に記入する。（例：φ150mm－3.1－25.7）
- ・変更による廃工部分は黄書きとする。

縦断面図



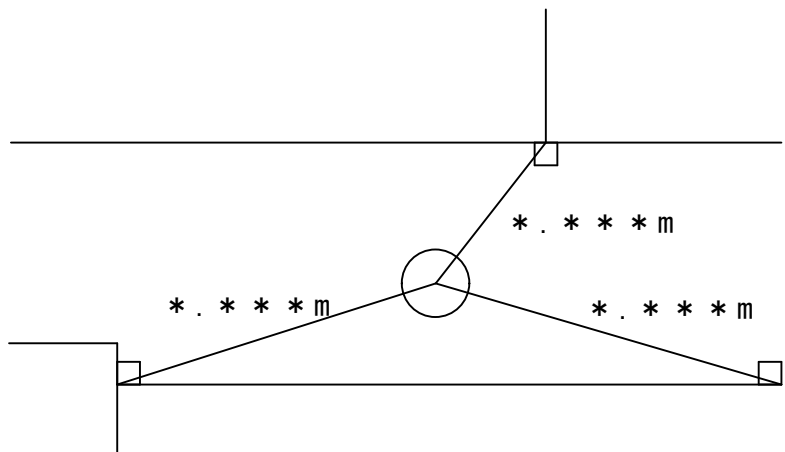
竣工図

平成	年度
工事名称	
図面名称	
縮尺	図示 図面番号 /

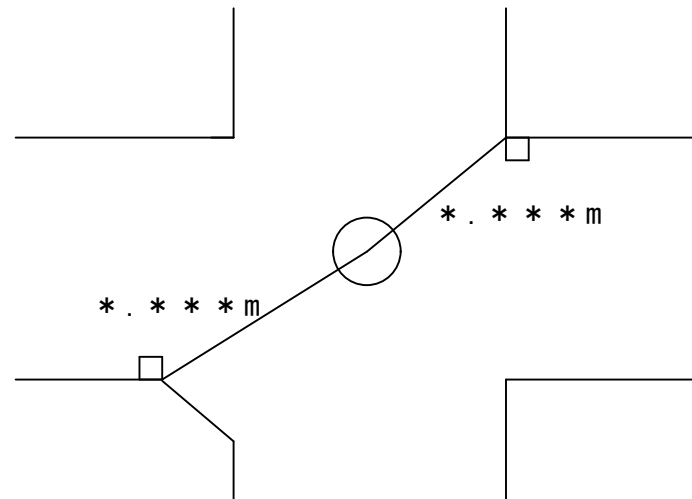
備考

- ・ 出来形実測値 (**. **) 及び施工箇所を朱書きで記入する。
- ・ 掘削深 = 地盤高 - 管底高 + 管厚 + 基礎厚
- ・ 土被り = 地盤高 - 管底高 - 管径 - 管厚
- ・ L = 管きよ延長 L' = 路線延長

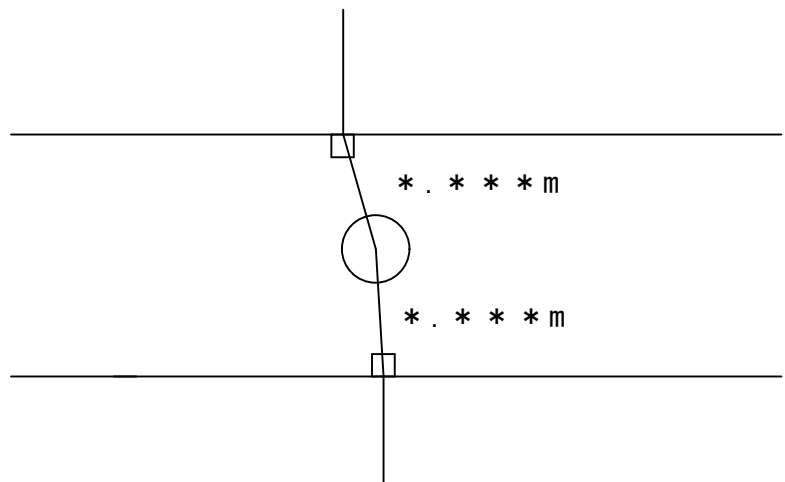
No.1



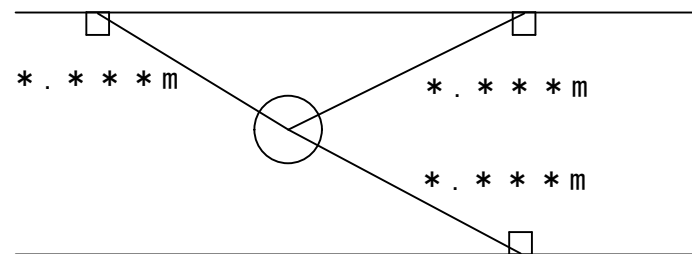
No.2



No.3



No.4



備考

・マンホール及びますのオフセットを記入する。（マンホールから周辺公共構造物の2点以上より延長* . * * *を記入する）